

キャラクター名
須藤 黎

プレイヤー名

シンドローム	オルクス モルフェウス		ワークス	FHセルリーダーB	カヴァー	傭兵
	オプショナル ノイマン		年齢	12	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	殺戮		初期侵食率	43 %
出自	名家の生まれ		経験	成り上がり	邂逅	欲望:復讐

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	23
肉体	1		0			1	行動値	9
感覚	3		0		1	4	(非装備時)	9
精神	1		0			1	戦闘移動	14
社会	3		0			3	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	5		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: FH	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ヴィークル用レールキャノン		-3		20		
ヴィークル用レールキャノン		-3		24		【力の証】で取得、一度だけ自己破壊回避

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
AIDA	
カスタマイズ:エピック	
ウェポンケース	
ウェポンケース	
CR弾	
【錬金秘本】	
【デモンズシード】	
【死体漁り】	
【力の証】	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
【装着者】	P	N		
BK:無償の愛	P 憧憬	N 憎悪		
PU:パール(PC4)	P 有為	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
黄金練成	3		常時		自身	自動		
効果:	財産+45 (錬金秘本適応済み)							
マルチウェポン	1	3	Xジャー	武器		対決		
効果:	命中-[5-LV] 二刀流							
コンセントレイト:ノイマン	3	2	Xジャー					
効果:	コンセ C-lv							
零距离射撃	1	2	Xジャー	至近		対決		
効果:	ダイス+lv 同一エンゲ不可で殴れる							
オーバーロード	1	3	オート	至近	自身	自動	80↑	
効果:	武器攻撃2倍 使用後壊れる							
代謝制御	1		常時	至近	自身			
効果:	代謝機能を制御。感情も制御できる							
折り畳み	2		Xジャー	至近	自身			
効果:	lv個までのものを隠す。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「あなたのことも、信頼していますよ」

レザポアドッグスのリーダーにして【姫】、そして最大火力の火砲を持つ砲撃手。だがセル内の任務に関しては、その超火力以外に取り柄がなく、その武器の取り回しの悪さから、潜入任務も得意ではない。人付き合いや知略についても錬に頼っている部分も大きく、物事の推進力では彩花、情報分析全般についてはクレオと比較すると立場がない。なにより自身の存在意義である火砲も、パールがいなければ放てず、黎自身が持つ力は微々たるものである。

自らの力のなさは彼女自身も自覚しており、だからこそ「金」という目に見えるもので他者を使役することで、自らの力とすることを目指していた。セルリーダーの立場に据えられた時も、金を分配して他者を使役する側の人間としての立場を学ぶためと捉えていた。

しかし、セルリーダーとしての彼女は決して誰かを使役するような態度ではなかった。単純に彼女の性格が元来穏やかであり、他人を使役することに向かなかったこともある。圧倒的な力があるわけでもカリスマがあるわけでもなかったから、人を縛りつけられなかったという理由もある。だが一番の理由は、単純に「金が欲しい」人間は殆どいないと気付いてしまったことだった。金が欲しい人間は、その先に金を用いて叶えたい欲望を持っている。その欲望に沿わないことであれば、どれだけ金を積んでも人は動くことはない。

だから彼女は他人の「信頼」を得ることに決めた。他者の心に沿い、その欲望に沿い、その中で人を頼ること。それ故に彼女は他者への信頼と感謝を多く口にする。それにより、金銭のやり取りは感情のやり取りに変わる、と考えたからだ。

だが、人に心を開いてもらうためには、自らも心を開くことをしなければいけない。それは即ち、自らの矛盾と向き合わなければいけないということだ。